

【経営理念】

乳幼児の発達に即した生活や遊びを通して、生涯にわたる人格形成の基礎を培い、生きる力を育む

【保育目標】

- ☆ 子どもたちが意欲的に遊び、達成感が持てる保育の展開
- ◆ 資質向上をめざし、意欲的に経営に参画する職員の育成
- ◎ 保護者から信頼され、地域に根ざした保育所づくり

【目指す子ども像】

- ☆健康で元気に遊ぶ子ども
- ☆自分を表現し感性豊かな子ども
- ☆仲間を大切にする子ども
- ☆好奇心や探究心を持つ子ども

保育目標を達成するための重点目標と具体的な方策

☆ 子どもたちが意欲的に遊び、達成感の持てる保育の展開

1. 乳幼児期にふさわしい生活や遊びの充実をめざす。
 - ①子どもたち自身が好奇心や探究心をもって主体的に環境に働きかけて遊べるよう、子ども一人一人の発達に即した環境構成や援助を行う。
 - ②自分のやりたいことを実現する中で、健康で安全な生活をつくり出す力を培う。
 - ③基本的な生活習慣の確立を目指す。
2. 友だちや周りの人たちと関わる活動を通して、人と関わる力を培う。
 - ①友だちや保育者、地域の人たちと関わる機会を多く取り入れ、人と関わる力を育てる。
 - ②友だちと協同する体験を通して、人の話を聞いたり自分の思いを伝える力を培うと共に、人を思いやる心を育てる。
 - ③友だちと様々な体験を重ねる中で、自分の気持ちを調整したり、ルールを守ったりする力を育てる。
3. 身近な環境と関わる中で、豊かな心と丈夫な身体を育てる。
 - ①様々な人や物、自然と関わる中で感じた子どもたちの感動を受け止め、それらを子どもたちと共有することにより、子どもたちの豊かな感性を育てる保育を行う。
 - ②生活経験や発達に応じて、子どもたちが様々な表現を楽しみ、表現する意欲を十分に発揮することができる環境構成や援助を行う。

◆ 資質向上を目指し意欲的に経営に参画する職員の育成

1. 職務分担が適切に機能し、子どもたちの為に職員がお互いに協同する保育を構築する。
 - ①定期的に分掌事務の進捗状況を確認する。
 - ②子どもや保護者の様子について情報を共有し保育内容を考えていく。
2. 専門性の向上に努める。
 - ①園内研修の充実を図る。
 - ・指導計画を作成し、職員間で協議する。
 - ・保育実践の振り返りと評価を行う。
 - ②研修に参加し職員間で内容を共有し主体的に取り組む。

◎ 保護者から信頼され、地域に根ざした保育所づくり

1. 保護者や地域に開かれた保育所づくりに努め、信頼される保育所をつくる。
 - ①子どもの育ちや保育への理解を深める機会をつくる。
 - ②子育てに関する情報を発信する。
2. 保小連携の取り組みを推進する。
 - ①相互の理解のもと子どもの育ちを、就学に向けてつなげる。
 - ②一日入学や体験学習を実施し、小学校との連携を図る。
 - ③保幼小中高連携教育推進協議会に参加し、職員間の交流を図る。

中期経営目標

- ☆子どもたちが意欲的に遊び、達成感が持てる保育の展開
- ◆資質向上をめざし、意欲的に経営に参画する職員の育成
- ◎保護者から信頼され、地域に根ざした保育所づくり

令和4年度の重点目標	令和5年度の重点目標	令和6年度の重点目標
☆一人一人が自分らしさを発揮して夢中になって遊ぶための環境づくり ◆共通課題に向かう職員の協力的体制づくり ◎保護者や地域に関わられた保育所づくり	☆身近な環境と関わる中で豊かな心と丈夫な身体を育てる ◆職務分担が機能し、職員がお互いに協同する保育の構築と園内研修の充実を図る ◎保護者や地域との連携	☆一人一人が自分らしさを発揮して夢中になって遊ぶための環境づくり ◆職務分担が機能し、職員がお互いに協同する保育の構築と園内研修の充実を図る ◎保護者や地域・関係機関と連携し、信頼される保育所づくり
評価項目	評価項目	評価項目
☆環境構成 ・子どもの主体的な学びを保障するための環境構成を行う ☆保育展開 ・年齢にあった本遊びや読み聞かせの場を設定する ◆研修 ・職員間で研修内容を共有し、主体的に取り組む ◆情報提供 ・園に関する様々な情報を発信する ◎保護者との連携 ・子どもたちの姿や保育への理解を深める機会をつくる ◎小中学校との連携 ・相互の理解のもと子どもの育ちを、就学に向けてつなげる	☆援助 ・一人一人の子どもの特性や発達、ねらい等に適した援助をおこなう ☆指導計画 ・保育の振り返りと記録を充実させる ◆安全確認 ・子どもが安心して過ごすことが出来る安全環境を整える ◆研修 ・研修内容を共有し、職員が協力して課題に取り組む ◎保護者との連携 ・子どもたちの姿や保育への理解を深める機会をつくる ◎小中学校との連携 ・相互の理解のもと子どもの育ちを、就学に向けてつなげる	☆保育・教育の環境構成 ・子どもの主体的な学びを保障するための環境構成を行う ☆指導計画 ・保育の振り返りと記録を充実させる ◆組織運営 ・日々の保育や子ども達の様子等について、報告・連絡・相談に努め、情報を共有する ◆研修 ・職員間で研修内容を共有し、主体的に取り組む ◎情報提供 ・園便りやクラス便りを発行し、保育への理解を深める ◎保護者との連携 ・子どもの育ちや保育への理解を深める機会をつくる

令和6年度

園 評 価

土居保育所

経営の柱	今年度の重点目標	評価項目	評価指標と評価結果				分析・考察
			取組指標	結果	成果指標	結果	
☆保育・教育活動の充実	一人一人が自分らしさを発揮して夢中になって遊ぶための環境づくり	[保育・教育の環境構成] 子どもの主体的な学びを保障するための環境構成を行う	4 他クラスの活動や保育の中で大切にしていることを知り、保育の環境構成の設定や調整をする		4 自分たちが始めた遊びを発展させながら遊びを繰り返すようになった子ども 75%以上		
			3 季節やその時期に大切にしたいこと等を踏まえ、子どもの感性をくすぐるような壁面等、環境を整える		3 65%以上		
			2 子どもの活動や活動の状況に応じて環境の再構成を行う		2 50%以上		
			1 一日の活動に必要な遊具・用具、素材等の準備する		1 50%未満		
		[指導計画] 保育の振り返りと記録を充実させる	4 記録をもとに職員会などで報告・情報を共有し保育に活かす		4 記録と振り返りが出来、保育に活かした職員 90%以上		
			3 保育の振り返り・反省・自己評価などを記録する		3 75%以上		
			2 保育や子どもの姿など気がついたことを記録する		2 50%以上		
			1 振り返りや記録を取る時間を確保する		1 50%未満		
◆職員の育成・資質向上や運営	職務分担が機能し、職員がお互いに協同する保育の構築と園内研修の充実を図る	[組織運営] 日々の保育や子どもたちの様子等について、報告・連絡・相談に努め、情報を共有する	4 職員会(月2回)で日々の保育や子どもの様子について報告し、共有する		4 報告・連絡・相談に努め情報を共有しようとする職員 90%以上		
			3 計画や記録をきちんととり、定期的に提出する		3 75%以上		
			2 必要に応じて、臨時の職員会を行なう		2 50%以上		
			1 日頃から職員間で子どもに関する話をする		1 50%未満		
		[研修] 職員間で研修内容を共有し、主体的に取り組む	4 研修内容を共有して課題を出し合い、全職員が協力して課題に取り組む保育を向上させていく		4 研修内容を話し合い協力して保育の実施向上することができる		
			3 研修内容を共有し、協力して課題に取り組む		3 保育の課題を共有し課題に取り組む		
			2 定期的な職員会や必要に応じて会議を行い課題を出し合う		2 職員会を開き職員同士課題を共有する		
			1 回覧や口頭で知らせる		1 研修内容を職員会で知らせる		
◎地域に開かれた園づくり	保護者や地域・関係機関と連携し、信頼される保育所づくり	〔情報提供〕 園便りやクラス便りの発行をし保育への理解を深める	4 週1回以上発行		4 (3に加え)より保護者が見やすいような紙面環境である		
			3 2週間に1回程度発行		3 (2に加え)子どもの活動内容に発達の視点や意図が加えられている		
			2 3週間に1回程度発行		2 (1に加え)子どもの活動を伝える内容がある		
			1 月に1回程度発行		1 お便りの内容がお知らせや予定だけである		
		[保護者との連携] 子どもの育ちや保育への理解を深める機会をつくる	4 必要に応じて家庭訪問や個別面談を行なう		4 子育ての中で感じる喜びや不安、悩みをよく話してくれる保護者 75%以上		
			3 子どもの様子や子育てについて連携・共有できる機会を設ける		3 50%以上		
			2 登降所時に子どもを中心とした話をする		2 35%以上		
			1 保護者に進んで挨拶したり話しかける		1 35%未満		